



カナダからの手紙

倉吉RC交換留学生の見た世界



お兄さまの元でクリスマスをお祝いすることでした。3日間滞在させていただきましたが、本当に充実した時間でした。

1日目にスキーに挑戦しま

した。実は、幼い頃にスキー

をしたことがあったのですが、片足にひびが入ってしまったので、それ以来もう絶対滑らないと思っていたくらいでしたから、その日は朝から笑顔が作れませんでした。

しかし、回りの方が滑り方を丁寧に教えてくださったので、徐々に不安がなくなり無事に、慣れないながらも山を下ることができました。この経験のおかげでスキーへの不安はほぼ無くなり、帰国後もまた挑戦してみたいと思えるようになりました。本当に良かったです。

そして翌日は特にすることカナダでのクリスマスを楽しむ浦田君(左)



浦田 大地

新年明けましておめでとうございます。皆さま、いつもよろしくお願い致します。

ことしの正月は母特製のおせちが食べられなかったのが少し悲しい気持ちで過ごしましたが、いつもとは違う新年を過ごすことができたので良かったです。

実は、クリスマスにジャズバー国立公園に行きました。壮大なる山々が連なり、自然

いつもと違う正月

日本と違うクリスマスにも感動

はなかったのですが、家族みんなでプレゼントを開けました。日本のスタイルはサンタ？が子供たちの寝床にプレゼントを置き、去ってしまうといったものですが、ここはそれと違って、家族や親せき同士で交換するといったもので、もう一つはプレゼントを贈るといふことにも喜びを含んでいるということでした。ここに来るまではただ受け取るという考えしか持っていなかったもので、素直にこの文化とどうか習慣はいいなあと思いました。大切な人、日々の感謝の意をプレゼントという形にしてお互いに贈る、そんなカナダの温かい人々に感動しました。

(カナダ留学中、倉吉市出身) (月一回掲載)